

## 七夕の集い



7月3日(金)、阿尾保育園で「七夕の集い」がありました。園長先生の七夕のお話の後、短冊に書いた園児の願いごとを紹介しました。その後、ハンドベルの演奏やゲームなどをして楽しみました。



## ヒラメの放流



7月13日(月)、阿尾海岸でヒラメの放流が行われました。滑川栽培漁業センターで5cmに育ったヒラメ約5000匹を阿尾保育園の5才児11名と4才児6名が地元の漁師6名と一緒に放流しました。園児たちは、口々に「大きなあれ」と言っていました。

放流の後、園児は富山テレビやケーブルネットひみ、北日本新聞、北陸中日新聞などのインタビューにこたえていました。放流の様子は、午後6時のテレビのニュースや新聞で紹介されました。



テレビのインタビューに堂々とこたえる園児



## \* 公民館主事の独り言

(NHK歴史秘話ヒストリアより)

幕末、薩摩藩は將軍の正室を出すことになった。徳川家とのつきあいには、膨大な経費がかかり、藩の財政を圧迫していった。

一方、各藩は財政再建から、自藩の利益を守るため他藩の者を商売することに制限を加えた。富山の薬売りも例外ではなく、薩摩藩での商売が難しくなった。

そこで、薩摩藩の有力商人に相談したところ、薩摩藩は中国貿易で高値で買ってくれる昆布を欲しがっていることを知った。しかし、昆布の権利は幕府が独占していた。富山は、北前船の寄港地でもあったことから、富山の薬売りは、組織を生かし、昆布を買い集め、内密に薩摩藩に送った。

その結果、薩摩藩は財政を再建できた。さらに、国父の島津久光が兵を率いて江戸へ行く際にも、薬売りが隠密のようにして集めた全国の情報は貴重であった。また、この全国の情報は、寺田屋事件をおさめることにも役だったという。

私は、幕末の話題になると、富山藩は明治維新に何も貢献していないと寂しく思っていた。しかし、富山藩が環境(豊富な水・中国との貿易・薬の知識)を生かした薬づくりが、日本の民の健康を守るとともに、近代化に大きく貢献したことを知り、郷土富山を誇りに感じた。



## 〇8月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師等	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	5日 (※8月は1回のみ)	西山栄津子	10:00~ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	3日 17日	猶明 光華	13:00~	洋室
茶 道	土曜日(原則月2回)	4日 11日 18日 25日	栗山 静子	14:00~	和室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	6日 13日 20日 27日	栗山 静子	15:00~	和室
詩 吟	毎週火曜日	4日 11日 18日 25日	布野 克巳	19:30~	洋室
手 芸	第3火曜日	18日	伏木あい子	13:30~	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	1日 8日 15日 22日 29日	大野 朝子	19:30~	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	13:00~	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	3日 5日 10日 12日 17日 19日 24日 26日 31日		13:30~	和室
フラダンス	第1・3火曜日	4日 18日	東軒みさ子	19:00~	和室

## 花鉢プレゼント

7月27日(金)、花鉢プレゼントの出発式がありました。堀江校長先生の話、藪田地区社会福祉協議会の浜野会長の挨拶、児童代表の挨拶の後、海峰小学校の5・6年生27名が民生委員や児童委員と一緒に一人暮らしの高齢者宅をベゴニアの鉢を持って訪れました。

